

平成 22 年 9 月 22 日

1 号機高圧注水系テスト配管の支持構造物の損傷等の点検・調査結果について

高圧注水系テスト配管の支持構造物（サポート）の損傷等を確認した（8 月 5 日、8 月 11 日に不適合としてホームページに掲載済み）ことから、今回の原子炉停止にあわせ、原因調査を継続し、再発防止対策を講じた後、修理を実施いたします。

なお、損傷していたのは高圧注水系テスト配管のサポートの一部であり、原子炉へ水を注入する高圧注水系配管のサポートに異常はなく、注水機能への影響はないことを確認しています。

[\(平成 22 年 8 月 20 日お知らせ済み\)](#)

今回の定期検査で高圧注水系テスト配管のオリフィス*を取り替えた際に、向き、形状および設置位置（弁との間隔を短くした）を変更したことにより、配管内部の水の流れが速くなり、差圧が高くなりました。そのため、配管内で乱流が発生し、通常より大きな振動が起こり、繰り返し配管に力が加わったため配管サポートが損傷したものと推定いたしました。

原子炉停止後の今回の点検において、配管の振動が抑制できるように、再度オリフィスを取り替えるとともに、損傷した配管サポートについて修理を実施しました。

今後、調整運転開始後、高圧注水系の運転状態について、配管サポートの健全性およびシステムの健全性を確認することとします。

以上

* オリフィス

流体の圧力を調整するために、配管内の途中に設けた絞り穴。

不具合があった配管サポート範囲

